

JR西労組ユニオンカレッジ 第219期女性役員コース

女性役員としての活動を学ぶ

中央本部は、5月22日(金)23日(土)にかけて、四条畷市のアイランドにおいて、「JR西労組ユニオンカレッジ」第219期女性役員コースを開催した。

女性役員コースは、各地で奮闘・活躍している女性役員を対象に、リーダーの育成や役員のロールモデルを増やすことを目的としており、13名が受講した。



ロールプレイングや模擬団体交渉を行った



各地で奮闘・活躍している女性役員13名が受講した

講義では、川原副執行委員長から、「JR西労組の組合員としての基礎知識」や、川端書記長の「福知山線列車事故を経験して」、羽野執行委員長の後、組合員からの相談に応えるための

ロールプレイングや、各種課題をテーマとした模擬団体交渉を行った。

受講生は、グループで協力しながら、各講義の課題をまとめるとともに、模擬団体交渉では、実体験を踏まえた声を集め、課題を訴えることで、労使協議を行う重要性を体感した。

研修最後の
決意表明では、「女性が抱えやすい不安や負担にも丁寧な耳を傾けていきたい」「自身の考えを発信するなど、様々な考えを聞き取山の気が付いた」「小さな悩みや不安にも気が

「女性役員としての強い思いが、受講生より述べられた。研修生には、研修の中で固めた決意と研修生同士の横のつながりを大切に、各職場の女性リーダーとして、自信と誇りを持って活躍していただくことを期待する。」

「株式会社ハピラインふくい」の 労使意見交換会を開催

JR西労組金沢地方本部は、2026年5月12日(火)、AOSAにおいて、株式会社ハピラインふくいと、労使意見交換会を開催した。

執行委員長は、①意見交換会の趣旨、②能登半島の復興、③安全、④業務移管から今日までの経営状況、⑤出向組合員について挨拶を行った。続いて中央本部川原副執行委員長が、①安全、②ABC運動について挨拶を行った。その後、株式会社ハピライン



各種課題に対して共有を図る有意義な意見交換会となった

部、金沢地方本部、福井地区支部、ハピラインふくい出向者分会、株式会社ハピラインふくいから11名が出席した。

冒頭、金沢地方本部香掛執行委員長は、①意見交換会の趣旨、②能登半島の復興、③安全、④業務移管から今日までの経営状況、⑤出向組合員について挨拶を行った。続いて中央本部川原副執行委員長が、①安全、②ABC運動について挨拶を行った。その後、株式会社ハピライン

JR連合 青年・女性委員会 第30回ユースラリー らっしゅい関東！30回だヨ！皆で行カントー！

JR連合 青年女性委員会は、5月24日(日)25日(月)にかけて、東京都内において、JR連合関東地方協議会青年女性委員会の準備のもと、「第30回ユースラリー」を開催した。

全国から約1000名が集結し、JR西労組からも各地本総支部を代表して13名が参加した。

冒頭、高杉議長(JR西労組中央本部青年女性委員長)は、「全国規模での「仲間づくり」を体現する、このユースラリーを存分に楽しみ、二本のレールでつながった仲間との絆を深めてほしい」と挨拶した。

1日目は、レクリエーションとして、ウォークラリーを実施。「一休さんゲーム」と題し、各エリアでお題に沿った写真や動画を撮影して得点を競い合った。

2日間は通じて、参加者は単組や系統の枠を超え、全国の仲間との「横のつながり」を深めた。



参加者は「横のつながり」を深めた

2日目の勉強会では、JR連合住吉局長より「労働組合の存在意義とJR連合の取り組み」について、関東地協の浅海幹事より「民主化闘争」をテーマに特別講義が行われた。

その後のディスカッションでは、労働組合の必要性や活動参加を促す工夫などについて、活発な意見交換が行われた。

参加者は、有名観光地を新たな視点で巡りながら交流を深めたほか、夕食時の懇親会でも趣向を凝らした企画が行われ、班や単組の枠を超えて親睦を深めた。

2日目の勉強会では、JR連合住吉局長より「労働組合の存在意義とJR連合の取り組み」について、関東地協の浅海幹事より「民主化闘争」をテーマに特別講義が行われた。

その後のディスカッションでは、労働組合の必要性や活動参加を促す工夫などについて、活発な意見交換が行われた。

第10回外国籍採用組合員との意見交換会を開催 新たな仲間を加えて交流を深める

中央本部は、5月16日(土)、ホテルグランヴィア大阪において、「第10回外国籍採用組合員との意見交換会」を開催した。

現在、JR西労組には、外国籍採用の組合員(総合職)が在籍しており、今年度の新規採用組合員2名を含め、合計18名となっている。

当日は、近況報告に加え、業務における不安や課題について、活発な意見交換を行った。



外国籍採用組合員との意見交換会

今回の意見交換会で出された課題解決に向けて取り組んでいくことにも、第11回開催を行うことを確認し、会を締めくくった。

ロマンは実を結ぶ

京都地本 京都電車区分会

No.383

我々の働く京都電車区は、京都駅の西側に位置し、京都駅を中心に、JR京都線・琵琶湖線湖西線・嵯峨野線奈良線に勤務しています。

他にも「サンダーバード」「スーパーはくと」「ひだ」に「し」等の特急列車、「ウエストエクスプレス銀河」「トワイライトエクスプレス瑞風」や工臨配給列車・検測列車も担当するなど、多車種多線区に勤務することが特徴

京都駅を中心に、多車種・多線区に勤務

現在、京都電車区分会には約200名の組合員が所属しており、日々の世話活動から、歓迎会や毎年恒例の琵琶湖でのサマーキャンプ等の分会レクの開催、地本主催の各種レクにも積極的に参加し、ここ数年は全競技への出場を継続しています。

特に綱引き大会において4大会連続で京都地本代表として本部大会に出場し、



毎年恒例の琵琶湖でのサマーキャンプ等の分会レクを開催

2大会連続3位入賞を果たしています。

これからも皆で知恵を絞って、全員参加型の分会活動を目指して取り組んでまいります。

また、京都電車区は、京都鉄道博物館にて、本物の蒸気機関車が牽引する「S1ステーション号」

